

おわりに



本マスタープランは、国立大学の将来を展望し、地域の環境資源と大学との共生に配慮しつつ、九州大学新キャンパスのあるべき姿を想定し、整備、管理、運営の指針を示したものである。新キャンパスへの移転を九州大学において決定してから今日までの約10年間に及ぶ関連する調査、検討、計画の成果と最新の情報に基づいている。

今後、九州大学は、本マスタープランに基づき、研究・教育のアカデミック・プランを確立しつつ進められる具体的な個々の施設の整備に関係する全ての人々の努力によって、新キャンパスにおける空間の質 - (Quality of The Place) - をより明確な姿として実現していくこととなる。

新キャンパスの完成時においてよりも、研究・教育が推進されていく50年後、100年後の将来にその真の評価を受けることとなる。

何よりも、本マスタープランの目的は、21世紀を生き続けるキャンパスの創造にある。

新キャンパスにおいて、創造性と人間性豊かな人材を育み、優れた研究成果を世界に発信し続けることにより、九州大学が21世紀においても地域とともに一層発展することを目指して、策定されたものである。